

【 2025年度 湘南東部総合病院における勤務医の負担軽減及び処遇改善計画 】

【 目 標 】				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医師事務補助体制加算Ⅱの体制維持・強化等による医師の負担軽減に対する方針を受け、患者の安全及び医療の質を確保しながら当院の医師の業務負担を軽減する</li> <li>・ 多職種との役割分担を通して、医師の業務負担を軽減する</li> </ul>				
<取り組み項目>	<方 針>	<具体的な取り組み>	<達成度>	<達成度評価>
1.医師の働き方改革への対応	(1) 時間外労働の年間上限は960時間、連続勤務制限など  医師の労働時間に関する取り決めを中心として、  医師の働き方の適正化を図る	労働時間に当たるものの範囲を明確化し、院内で周知  医療機関内の労働時間等の現状を把握・分析  タスク・シフティング(業務の移管)の推進  長時間勤務傾向がみられる医師に対し、個別フィードバックおよび改善指導を実施  時間外対応や急変対応後には、翌勤務の遅出・時間調整を行うフローを整備  定期的に時間外実績を集計し、診療科ごとに月平均の管理目標を設定		
2.多職種連携の「質」の向上	(1) 医師事務作業補助業務規程に則った活動の強化   (2) 看護・薬剤・検査等を含めたタスクシフト	各職種ごとの業務範囲を明文化し、運用マニュアルとして整備  医師事務作業補助者、看護師、技師、薬剤師等への役割確認と教育を定期的を実施  医師との情報共有体制(カンファレンス・申し送り等)の強化  入院説明・検査説明に関する統一資料の見直しと再配布  診療科間での好事例を共有し、業務分担の平準化を推進  定期的な評価会議を設け、現場の意見を反映した改善サイクルを回す		

達成度の評価 A:達成された B:部分的に達成 C:継続的に取り組み中 D:未達成